

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成30年7月20日

①学校名:	東洋英和女学院大学 大学院	②所在地:	東京都港区六本木5-14-40		
③課程名:	東洋英和女学院大学大学院 人間科学研究科人間科学専攻 修士課程臨床心理学領域	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	平成13 年4月
⑥責任者:	人間科学研究科長 久保田まり	⑦定員:	人間科学研究科人間科学専攻37 名(平成27年度臨床心理学領域 修了者数17名)	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	心理学的な対人援助に関する教育研究を目的としている。(財)日本臨床心理士資格認定協会による「臨床心理士」認定試験受験資格取得のための第1種大学院の指定を受けており、所定の資格課程科目を修得することによって、修士課程修了後、「臨床心理士」資格試験を受験することができる。高度専門職業人の育成を図っている。				
⑩4テーマへの 該当の有無	女性活躍	⑪履修資格:	平成28年度の履修(出願)資格 次のいずれかに該当する者 (1) 大学を卒業した者および平成29年3月卒業見込みの者 (2) 大学評価・学位授与機構において、学士の学位を授与された者および平成29年3月 末までに授与される見込みの者 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および平成29年3月修了 見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号) (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定 める基準を満たす者に限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定 める日以降に修了 した者 (6) 研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(出願資格 については書類審査が必要。		
⑫対象とする職 業の種類:	臨床心理士				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 心理面接・心理アセスメント・地域援助に関する知識 と技術及び研究能力		(得られる能力) 対人援助能力と研究能力		
⑭教育課程:	臨床心理面接特論・心理療法特論において、面接技法の基礎を学び、精神医学特論・発達臨床心 理学特論・学校臨床心理学特論・老年心理学特論・臨床薬理学特論・行動療法特論・産業臨床心理 学特論において各種臨床領域の実際を学ぶ。臨床心理査定演習でアセスメント能力を習得し、臨床 心理地域援助学特論で地域援助法を、臨床心理学研究法特論で方法論を学ぶ。これらすべてを統 合する形で、臨床心理実習・臨床基礎実習・臨床心理学特論といった臨床実習やケースカンファレン スおよびゼミが毎週、通年に渡り行われている。				
⑮修了要件(修 了授業時数等):	必修16単位以上を含む30単位以上の修得および修士論文を提出し合格すること				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(人間科学)				
⑰総授業時数:	170 単位	⑱要件該当授 業時数:	120	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	71%
⑳成績評価の方法:	授業科目の成績評価は、試験、論文、レポート、発表及び出席状況その他の学習態度を考慮して授 業担当教員が行う。修士論文の審査及び最終試験は主査1名、副査2名によって行う。具体的は、各 授業において個々に評価するとともに、ケースカンファレンスにおいて、最低2事例は発表することを 大学院修了要件の一つとしており、ケース発表を通して6人の教員が技量を判定する。また実習先 の担当者にも評価を依頼し、学内外で評価する。研究能力については、修士論文の作成を修了要 件の一つとしており、3人の教員により合否を判定し、委員会に置いて承認を得ている。				

①自己点検・評価の方法:	自己点検自己評価委員会及びFD委員会にて、各年度の目標と成果を報告している。さらに、臨床心理学領域の教員ミーティングを毎週開催し、問題が生じた場合にはその都度対応している。加えて、年1回授業評価アンケートを実施している。
②修了者の状況に係る効果検証の方法:	臨床心理学領域は、臨床心理士養成大学院として平成13年に設立され、200名余りの専門家を輩出してきた。修了生のほぼ全員が就職(医療機関、学校、教育相談施設等)し、中には指導的立場にいる者も多く、大学で教鞭をとる者もいる。修了者の状況や能力等については、次の方法で教員が把握している。①臨床心理士資格審査の可否についてメールやはがきで情報を収集する。②在籍者も交えた修了生のメーリングリストを作り常に情報交換をしている。③臨床心理実習(カンファレンス)や定例の内部研究会で修了生が事例を提供し検討している。④臨床心理学領域主催のワークショップを年1回開催し、修了生が事例を発表し、院生全員と修了生が出席している。⑤有志により年1回同門会を開催し、情報交換をしている。これらすべてに教員が関与している。
③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 臨床心理学に関する高度専門職業人の育成を目的とし、臨床心理基礎実習・臨床心理実習が設けられている。これら実習は、内部実習と外部実習からなり、前者は当大学院付属の心理相談室、後者は外部の実習機関(医療機関・教育機関・福祉施設等)で行われている。港北病院は、外部実習機関のひとつであり、1年に1~2回程度の実習巡回時に港北病院側と本大学院教員間で意見交換を行う。  (自己点検・評価) 外部実習機関である港北病院院長及び指導担当の臨床心理士に学生評価を依頼しているが、学生評価を通して臨床心理学領域全体に渡る意見を聴取することができる。また臨床心理学分野の現状を踏まえ、専門家育成のための意見を聴取し、臨床心理学領域教員ミーティング及び人間科学研究科委員会で、教育課程の検討を行う。
④社会人が受講しやすい工夫:	社会人が受講しやすいよう、平日夜間と土曜日に授業を開講している。具体的には、月曜日から金曜日は18時30分から21時40分(木曜日のみ15時20分から20時)、土曜日は9時から19時30分に授業を開講している。教育訓練給付金制度を取り入れている。
⑤ホームページ:	(URL) <a href="http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigakuin/kenkyuuka/rinshou.html">http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigakuin/kenkyuuka/rinshou.html</a>

事務担当者名:	田澤 聡	所属部署:	大学院事務室
連絡先:	(電話番号)03-3583-4031 (E-mail) daigakuin@toyoeiwa.ac.jp		

\* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。